

人間関係づくり実践モデル事業 報告書

学校名（山口市立大海小学校）

1 学校の概要

(1) 学校規模

- 学級数：8学級
- 児童数：130人
- 教職員数：16人
- 活動の対象学年：全校児童と職員



(2) 学校環境

- 校区から、自然豊かな大海湾を臨むことができ、日当たりよく穏やかな気候の地域である。
- 近くを県道が通り交通量も多いが、比較的静かで落ち着いた地域である。
- 地域の方は、学校教育に大変協力的で、ふれあい体験活動など、学校行事にも進んで参加・協力するなど支援を十分に得ることができる。

(3) 連絡先

- 〒754-1101 山口市 秋穂東 2299
- 電話：083-984-2253
- FAX：083-984-4063
- ホームページ：<http://www.c-able.ne.jp~oomi2299>
- 電子メール：oomi2299@c-able.ne.jp

2 児童生徒の実態と事業の必要性

(1) 児童の実態

本校は、130名の在籍があり、各学年1クラスと特別支援2クラスで構成されている。子どもたちは、豊かな自然のもとで育ち、大変明るく活発である。

各学年の在籍数は、30名から17名と学年により様々である。年間の転出入児童も、2～3名程度であり、この数年、児童数の大きな変動はない。

(2) 事業の必要性

各学年、30名に満たないこと、転出入がほとんどないことなどから、学年が上がるに連れ、人間関係が固定化する傾向にある。クラス替えがないため、入学時に構成された学級は、6年間ほとんど児童の入れ替わりもない。学年が上がるに連れ日々の生活の中で出てくるストレスが大きくなり、毎年上学年ほど、人間関係についての問題が起こってくる。人間関係が固定化され、子ども同士のコミュニケーションが減ってくることにより、子ども同士のすれ違いも多くなる。

ここに、不足しがちなコミュニケーションを円滑にしていくアクティビティーが必要であり、成就感を共有化できる仲間づくり体験が必要である。教師の支援により子どもたちが人間関係づくりの能力を学ぶことで、少ない人数のなかでも人間関係づくりの力を養うことができるよう、機会を設けなければならない。

3 研究の概要

(1) 学校教育目標

夢と学び —夢をもち学び続ける児童の育成—

(2) 研修主題

子どもの笑顔が見える学級づくり
—集団活動を通して、自分・友達を大切にしている児童を目指して—

(3) 研修主題設定について

21世紀を迎え、高度な科学技術の発達と経済の発展に伴い、情報化、国際化、高齢化、価値観の多様化、少子化等が急速に進む現代社会において、主体的にたくましく生きていく子どもを育てていくことが今の教育に求められている。しかし、今日、豊かな人間性をはぐくむべき時期の子どもたちを、いじめや不登校の問題、学校外での社会体験不足など、様々な課題が取り巻いている。これらの課題に適切に対応していくために、教育の在り方について検討が求められてきている。社会の変化に主体的に対応できる子どもたちを育てるには、子どもたちに自ら進んで考えていく力をつけさせることが重要であるといわれてきている。

今日の学校教育の現状を踏まえ、平成14年1月の文部科学省「確かな学力の向上のための2002アピール」においては、心の教育の充実と確かな学力の向上が教育改革の重要なポイントであり、今の学校教育における大きな課題となっていると伝えている。

教育課程審議会の答申における教育活動の改善の基本方針として、好ましい人間関係の醸成、基本的なモラルや社会生活上のルールの習得、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成などを重視する観点から、

- ① 集団活動を通じた教育活動としての特質を生かし、集団の一員としての自覚を一層深め、豊かな人間性や社会性の育成を図る。
- ② 学校や児童の実態に応じて自主的、実践的な活動を充実するとともに、一層弾力的な指導が行われるようにし、内容の改善を図る。
- ③ 家庭や地域との連携を深めながら、自然や文化との触れ合いや地域の人々との幅広い交流など、自然体験や社会体験等の充実を図る。

など3つの改善点が示されている。

本校は、学年在籍人数30人から17人という各学年1クラスの学校である。子どもたちは、素直で明るく、気の合う友だちには大変親切である。しかし、高学年にあがっていくにつれて、友だちとの関係にすれ違いが出てきたり、上下関係がでてきたりしてきている。



ぞうきんの川渡り

単学級で過ごすという環境から、お互い気をつかい、人間関係に息詰まってしまう環境にある。単学級で6年間を過ごしていく中で、個々の子どもたちが個々の思いで友だちを位置付けてしまうため、十分なコミュニケーションをしない生活になったり、固定化した価値観で行動してしまったりする傾向が見られる。将来にかけて、子どもたちの社会が広がっていく中でも、人と上手にかかわりをもつことができる力は、この6年間に育てなければならない力の1つである。限られた集団の中でも、十分なコミュニケーションの力を育てたり、成就感を共有したりする中で、所属意識を高め、人間関係づくりの力を育てなければならない。

4 研究仮説

指導者が学習集団に対して、子ども同士かかわりをもたなければならない場面や達成感を味わわせたりする場面を設定することにより、子どもたちは適切な人間関係づくりを行い、子ども同士が夢をもち、自らの思いをもって活動しようとするのではないか。

5 研究の手だて

① 子どもの知的な興味・関心を引き出す活動内容を工夫する。

教育活動全体の中で、次のような点を工夫することにより、友だちのよさを大切にしながら友だちとのかかわりをもとうとする児童が育つであろう。

- ① 子どもの知的な興味・関心を引き出す活動内容を工夫する。
- ② 子どもが自分や自分の思いを表現したくなる活動を工夫する。
- ③ 子どもの変容や成長を促す評価を工夫する。

- ・ 知的な好奇心に訴えたり、五感を通して感じ取ったりできるプログラムの開発。
- ・ 友だちの見方や捉え方をゆさぶり、新たな価値観を形成できる活動の工夫
- ・ 総合的な学習、各教科、行事などで人とかかわる機会の設定することにより、人とかかわることの楽しさを味わわせる活動を工夫



魔法のじゅうたん

② 子どもが自分や自分の思いを表現したくなる活動を工夫する。

- ・ お互いの意見や考え方を出し合える学級づくりや、自他のよさや個性を認め合うことができる学級づくり
- ・ 友だちの変容を見抜く力を育てたり、素直に行動できたりする学級づくり

③ 見えない「心」(意欲)を見取る評価を工夫する。

- ・ 自分が感じ取ったこと、気づいたことの価値や自分の変容を振り返る評価
- ・ 相手の見方や考え方を認め、自分では気づけなかった視点や考え方に気づく評価
- ・ 評価を継続することにより、自分たちの変容について気づかせる評価の工夫。

【1年次】

(1) 具体的な取組内容

回	月 日	取組内容
1	5月12日(水)	・ 本研修に係わる年間の見通し
2	7月26日(月)	・ AFPYの概要と実践を通しての研修I 指導者：教育研修所 研究主事 藤村寿先生
4	11月17日(水)	・ 秋穂小学校との合同研修会 様々なアクティビティーの実技研修 AFPYにかかわる理論と実践の研修II 指導者：教育研修所 研究主事 藤村寿先生 様々なアクティビティーの実技研修
5	12月15日(水)	エンカウンターに係わる研修 指導者：中野 久治 先生 エンカウターの理論とエクササイズ
6	2月2日(水)	人間関係づくりに係わる研修 指導者：教育研修所 研究主事 藤村 寿 先生 AFPYの理論と具体的なプログラムの作成
7	2月9日(水)	エンカウンターに係わる研修 指導者：中野 久治 先生 エンカウターの理論と具体的なエクササイズ
8	3月9日(水)	人間関係づくりに係わる校内研修 今年度の本研修のまとめと来年度の見通し

(2) 1年次の成果と課題

① 成果

- 楽しみながらの人間関係づくりができた。

ショートエクササイズを行うことを通して、失敗したりうまくいったり、友だちの知らなかった面を知ることができたり、気付かなかった友だちの面に気付いたりする事により、心を開きながら人間関係をつくっていくことができた。

- 小さな成就感を積み重ねていくことにより、仲間意識を生み出すことができた。

手の甲の名刺を友だちと空中で交換することに成功したり、竹とんぼをお互いが交換し合ったりするなど数度の取組で成功させる。その成功したときの成就感を共に味わっていくことで人間関係づくりができていくことを実感することができた。子どもたちの学校生活の中では、共に成就感を味わう場面が少なくなってきた。ショートエクササイズを用いることにより、小さな成就感を数多く味わわせていくことが大切であることを感じた。

- 指導者の小さな工夫により、活動を広げることができた。

名前、動き等に変化を加えることにより、活動がバリエーションをもってくるようになる。集団の中で配慮を要する児童も活動に参加できるように周囲の児童と対象児童の活動に制限を加えたり、配慮をするようにルールを作ったりすることにより、どんな子どもたちでも活動に参加できるよう、指導者側で支援が必要になってくる。指導者側で工夫ができるようになるためにも、指導者が数多くのアクティビティーを知っておく必要があり、たゆまぬ研修が必要とになってくる。

② 課題

- アクティビティーの研修不足

子どもたちに自由なコミュニケーションがとれるようにしたいという思いはあるが、取り上げるアクティビティーが適当なものではなかったり、変化・工夫のない活動を行い、子どもたちに取り組む意欲を失わせたりするなど、指導者側の研修不足があらわになった。もう少し、手持ちとなるアクティビティーを増やしたり、ルールを工夫したりするなど子どもの活動が活性化するようにしなければ、子どもたちが意欲的にコミュニケーションを取ろうとしたり、心の変化を見取ったりすることができないということを感じた。

- 指導に計画性がない。

研修会等で研修した中でのアクティビティーを行うため、指導に計画性がなかった。思いつきでアクティビティーを行うため、指導に一貫性がなかったり、見通しがもてていなかったりした。来年度は、子どもの実態からどのような子どもを育てていくのか、年間プログラムを作成し、見通しをもって指導しなければならない。

【2年次】

(1) 具体的な取組内容

回	月 日	取組内容
1	4月27日(水)	本年度研修の方向付け
2	5月11日(水)	2年次研修計画検討
3	6月8日(水)	ブロック研修「児童の実態とめざす児童像」
	7月6日(水)	人間関係づくり公開模擬授業(1年生)
	7月中旬	年間カリキュラムについて
4	7月26日(火)	人間関係づくり実態調査 構成的グループエンカウンター研修 指導者 中野 久治 氏
5	7月27日(水)	秋穂小学校との合同研修 (AFPY) 指導者 深川中学校教頭 藤村 寿先生
6	7月28日(木)	人間関係づくり年間指導計画の立て方

せるために有益なアクティビティーであった。

(2) 2年次の成果と課題

① 成果

- 学級で笑顔が増えるようになった。

今年度、朝の時間に「おおみタイム」として、ショートの間人間関係づくりの時間を設けるようにした。毎週火・木曜日の始業前に、20分程度友だちとかかわる時間を設けることにより、ロングで行う人間関係づくりの力をより効果的に育てることができるようにした。子どもたちは、毎週行われるアクティビティーにより、活動することの楽しさや友だちとかかわることのおもしろさを味わうことができ、笑顔で朝の時間を迎えることができるようになった。

- 日頃見られない子どもたちの違う姿を見つけることができた。

休み時間とは違い、指導者の方で活動の機会を設定したり、コミュニケーションの時間を確保したりすることにより、友だちの行動、言葉かけを注意して見たり、聞いたりするようになった。日頃かかわることが少ない子どもたちが同じ班となり、課題を解決していこうとする姿は新鮮であり、子どもたちも日頃の生活では気づかなかった友だちのよさを見つけることができたようだった。

② 課題

- 人間関係づくりは、全教育活動を通してすべきものであり、AFPYはその中の1つの手段である。

AFPYの活動が成立するためには、やはりその素地がいる。ルールを守ることができたり、話をよく聞くことができたりしなければならない。そうでないと、かえって傷つく子が出てくる。アクティビティーを行いながら、ルールの大切さを学ばせたり、教科、特別活動などの時間に、話を聞くことの大切さを学ばせたりするなど、全教育活動と連携を取りながら支援していく必要がある。

- 転入職員への研修を充実しなければならない。

アクティビティーについて、年々研修を深めているが、4月の職員転出入により人間関係づくりへの共通理解、様々なアクティビティーの事例など、再度共通理解を深めなければならない。4月の忙しい中、どのように研修の時間を設け、職員が共通理解のもとに指導できるかが重要となってきた。

【3年次】

(1) 具体的な取組内容

回	月 日	研 修 内 容
1	4月12日(水)	昨年度までの本校の研修について ・ 新年度の共通理解
2	4月26日(水)	今年度の方向付け ・ 研修主題・基本的な研修方針の決定
3	5月10日(水)	今年度の研修について ・ 研修主題、主題設定の理由などの共通理解

4	6月7日(水) 夏休み	構成的グループエンカウンタについての職員研修 ・ 講師招聘 予定：中野 久治先生 年間計画見直し(ブロック) ・ おおみカリキュラムを基にした学級活動・(道徳)等の年間計画 改訂 ・ ブロック研修(随時)
5	10月11日(水)	授業研究 ・ 6年 学級活動 「グループの仲間一人ひとりの活躍を大切にしよう」
6	11月22日(水)	授業研究 ・ 1年 学級活動「友だちのことをもっと知り、つながりを深めよう」 ・ 3年 算数「1万をこえる数」
	11月	人間関係づくり実態調査 ・ 結果の集計と考察
	1月17日(水)	「実践のあゆみ」作成について打合せ ・ 実践のまとめ・実践のあゆみ作成
7	2月7日(水)	ブロック研修(実践のまとめ・実践のあゆみ作成) ・ 今年度の取り組みについて気づき・今後の課題 ・ 来年度の方向付けについて 今後の取り組みについて ・ ブロック研修・個人研修(原稿作成)
8	2月28日(水)	来年度の方向付け・『実践のあゆみ』装丁作業

◆ 実践例 6年 学級活動 「グループの仲間一人ひとりの活躍を大切にしよう」

4～5人の班で、記録係1名、連絡係数名を決め、掲示してあるイラストを、連絡係数名が記録係に言葉で伝え、同じ絵を模写するエクササイズ。

このエクササイズにより、自己理解、他者理解を図る。

活動後、コミュニケーションの難しさ、それぞれの役割を責任もって果たそうとする友だちの姿などを再発見し、その後の人間関係づくりに役立てることができた。

3 本時数 学級活動 10月11日(水) 1時間 50分(40分)

1) 本時 目的 学級活動「グループの仲間一人ひとりの活躍を大切にしよう」を達成するために、各グループの役割を明確にし、各グループの役割を達成させることである。

2) 準備物 紙、黒板、マス、イラスト、黒板消し

3) 活動の流れ

活動の流れ	予定される児童への支援・指導
1. 自由な発表 ○ 発表の準備 ○ 班長・記録係・連絡係の役割を説明する	本時の活動の進捗を把握できるように、本時の役割を明確にする。
2. アーリー ○ 班長に役割を説明する ○ 班長に役割を説明する ○ 班長に役割を説明する ○ 班長に役割を説明する ○ 班長に役割を説明する	本時の活動の進捗を把握できるように、班長に役割を説明する。 各グループの役割を達成させるために、班長に役割を説明する。 班長に役割を説明する。 班長に役割を説明する。 班長に役割を説明する。
3. 人間関係 ○ 班長に役割を説明する ○ 班長に役割を説明する ○ 班長に役割を説明する ○ 班長に役割を説明する ○ 班長に役割を説明する	班長に役割を説明する。 班長に役割を説明する。 班長に役割を説明する。 班長に役割を説明する。 班長に役割を説明する。
4. 振り返り ○ 本時の活動の振り返り ○ 本時の活動の振り返り ○ 本時の活動の振り返り ○ 本時の活動の振り返り ○ 本時の活動の振り返り	本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。 本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。 本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。 本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。 本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。
5. クラスメイト ○ 本時の活動の振り返り ○ 本時の活動の振り返り ○ 本時の活動の振り返り ○ 本時の活動の振り返り ○ 本時の活動の振り返り	本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。 本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。 本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。 本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。 本時の活動の振り返りを行い、各グループの役割を達成させることについて振り返りを行う。

(1) 3年次の成果と課題

① 成果

○ 活動内容の充実

これまで、様々なアクティビティーについて研修をしたり、実践を通しての指導方法を工夫したりして、「おおみタイム」や道徳、特別活動での人間関係づくりの充実を図ってきた。3年間の積み重ねにより、子どもたちへの指導技術や支援の方法など習得することができ、子どもたちに余裕をもって指導できるようになった。それにより、子どもたちも活動に慣れ、自由に友だちへ意見を述べたり、活動したりできるようになり、アクティビティーがもっている本来のよさが生かせるようになった。

○ 教科への広がり

AFPYの概要ができるようになり、この考えをもとにして教科へも課題解決の活動を導入することができるようになった。子どもたちも仲間づくりの力を身に付けるようになり、教科の学習においても話し合い活動や、協力しながらの学習活動ができるようになり全教育活動の中で取り組むことができるようになった。

○ アクティビティーの工夫と開発

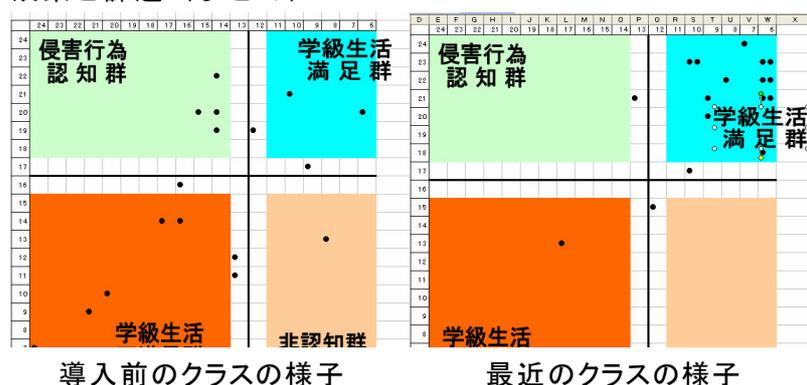
多くのアクティビティーにかかわることにより、活動を工夫したり、新しい活動に取り組んだりできるようになった。新しい活動に取り組むことにより、子どもたちの活動も新鮮になり、活動も活性化される。新しい活動を行うことにより、また違う子どものよさを子どもたちが見つけ、子どもたちのコミュニケーションも広がっていく。

6 3年間を通しての取組の成果と課題（まとめ）

平成16年度から3ヶ年にわたり、人間関係づくりについて研究してきたことをまとめる。

① 緊張をほぐす、意思疎通をはかる、仲間を支援する活動を通して作られる良質な集団づくり

この3年間、月1～2時間程度の人間関係づくりの時間、朝の時間を使ってのアクティビティーなどに取り組んできた。目的に応じた活動を計画的に行っていくことにより、集団がより良質な集団へと変わっていくことが分かった。学級集団が、課題を解決しようと話し合う活動、目標を達成しようと班で声をかけ合うこと、目標を達成したときの成就感を味わうことなど、学級で経験できる小さな共有体験に



より、学級の子どもたちが自然にかかわりをもてるようになっていく姿を見つめることができた。

② 人間関係づくりの力を育てるため、指導者が子どもの行動・思いを見るようになった。

朝の「おおみタイム」月に1・2時間の人間関係づくりの時間に子どもたちの行動を見、つぶやきを聞き、友だちとの会話を聞くことにより、指導者は子どもたちの思いを感じるようになってきた。そのことにより、指導者が、子どもたちの思いをより正しくつかむことができ、子どもたちから信頼感、安心感を得られるようになり、個々の子どもたちがストレスなく過ごしていけるようになってきた。

③ 他教科への影響

シェアリングの充実、自分の思いが出せる学級などにより、教科・道徳、特別活動、総合的な学習の時間などで、子どもたちの意見が活発になった。例えば、体育の学習では、縄跳びができない友だちを励まし、跳べるようにするなど、仲間としてのかかわりをもてるようになった。人間関係づくりの活動などを行うことにより集団が安定し、安心して過ごせる学級の中で授業に参加できるようになったからではないかと考えられる。

④ 和やかな異学年交流

人間関係の力を少しずつ身に付けるようになり、学校生活の中で様々行われている異学年活動も和やかに行われるようになってきた。AFPYを導入し始めての頃は、「早くして!」「まだ?」と言っていた子どもたちが、最近では、できるまで待てる子ども、友だちを励ますことができる子どもになってきている。友だちを待てる子どもたちは、登下校での班活動、掃除、交流遊びを行う縦割り班活動でも他の友だちを待つことができ、以前のような班活動での衝突がかなり減ってきている。

⑤ 集団に入れない子どもの減少

AFPYを導入し始めた頃は、なかなか集団活動に馴染めなかった子どもたちが、最近では、かなり少なくなってきた。特に顕著に表れたのは、特別支援教室に在籍している子どもたちであった。以前は、なかなか交流学級の活動に馴染めなかったが、活動を重ねる毎に、まわりにいる子どもたちから温かい言葉をかけてもらったり、よさを見つけてもらったりすることにより、AFPYの活動に積極的にかかわるようになってきている。個の成長と、集団の成長を感じる事例が多く見られた。

<課題>

① 将来にかけての人間関係づくり

本校は、単学級の学校であるため、かかわることができる人間が限られている。また、6年間、同じ集団で過ごしているため、転出・卒業などによる環境の変化による適応が十分にできるのかどうか心配される。「泣けばすむ」「友だちについていけば安心」というようなローカルな規範を脱し、新しい人間関係をどのようにつくっていくのかは、小学校を卒業してから試される。それまでの間、校内で、十分なコミュニケーション能力、思いやりの心を育てていく必要がある。

② 活動時間の確保

確かな学力の定着が叫ばれている昨今、本校でも、学力の充実を検討しなければ

月	生活努力目標	指導事項			ショート活動	メイン活動
		行事	目標	ねらい		
4	学校のきまりを守ろう。	学校開き PTテスト	仲間作り ・みんなをもちと知ろう	「安全で仲良く、楽しく、一生懸命」する事を企業で実践し、早期の学校生活に慣れさせる。	4(1) 先生や学校生活のためのルール 4(2) 先生や学校生活に慣れさせる。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) グループ(10) 【B】 1人1組(10) 2人1組(10) 3人1組(10) 【C】 1人1組(10) 2人1組(10) 3人1組(10)
		1年生を迎える会		4(1) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)	
5	明るく気持ちよい生活しよう。			4(1) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)
6	健康に気をつけよう。			2(2) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)
7	安全な暮らししよう。	夏休み		1(2) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)

月	生活努力目標	指導事項	目標	ねらい	ショート活動	メイン活動
9	心身をきたえよう。	新学年 運動会	相互理解・思いやり ・みんなが分かち合おう	「安全で仲良く、楽しく、一生懸命」する事を企業で実践し、早期の学校生活に慣れさせる。	4(1) 先生や学校生活のためのルール 4(2) 先生や学校生活に慣れさせる。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) グループ(10) 【B】 1人1組(10) 2人1組(10) 3人1組(10) 【C】 1人1組(10) 2人1組(10) 3人1組(10)
		10		勉強にがんばろう。	4(1) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)
11	進んで働こう。	新入生歓迎会		4(1) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)
12	美しい学校にしよう。	大掃除 終業式		2(2) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)
1	思いやりの心をそだてよう。	新学年 運動会	相互理解・思いやり ・みんなが分かち合おう	「安全で仲良く、楽しく、一生懸命」する事を企業で実践し、早期の学校生活に慣れさせる。	4(1) 先生や学校生活のためのルール 4(2) 先生や学校生活に慣れさせる。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) グループ(10) 【B】 1人1組(10) 2人1組(10) 3人1組(10) 【C】 1人1組(10) 2人1組(10) 3人1組(10)
2	力を合わせてがんばろう。				4(1) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)
3	感謝の気持ちをもちよう。	卒業式 5年生を送る会 終業式		1(2) 約束や校舎のきまりを守り、公儀をもつ。	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)	【A】 2人1組(10) 1人1組(10) 【B】 2人1組(10) 1人1組(10) 【C】 2人1組(10) 1人1組(10)

平成18年度 人間関係づくり年間計画

指導事項		ショート活動	メイン活動	備考
月	目標 人間関係作りのねらい、 道徳内容			
4	<p>これまで過ごしてきた友だちの違う面から見たよさを見つけながら新しい学級を作っていく。</p> <p>4月、新しい学年を迎え、誰もが遠慮したという勢りのアクティビティー</p>	<p>1 2回じゃんけん 3 あいこチェンジ 19 ネームターン 29 ネームス</p>	<p>11 シェーカーズ(A) 20 ネームス(A) ●146日探づくり(B) 1 2回じゃんけん(A)</p> <p>●147ルール作り(B)</p>	<p>入学式、 学年開き、 QOテスト、 検診</p>
5	<p>41) 各々の集団に思いをこめて、自分の役割を担い、協力して活動し、達成感を味わう。</p> <p>5月、 宿泊・修学旅行の場内で活動できるアクティビティー</p>	<p>66 ビンポンパン 67 20の扉 69 知探中 114 早撃わり</p>	<p>5 あんたはだれ(A) 30 自己紹介(A) ●144 魔術のじゆうたん(B) 9 キャッチボール 63 半習おに(B) ●113スタンドアップ(B)</p>	<p>1年生を迎える会、 修学旅行</p>
6	<p>6月、 クラス全員と関われるもの、少人数を中心に全体へ</p>	<p>1 3回ジャンケン 2 アー11 14+X 27 ラインナップ 36 L O game 48 ジャンケンジャンクション 47 玉回し 62 ちよっかい 114 早撃わり</p>	<p>13 したことある人(B) 92 オールキャッチ(B) ●119 原形判紙 34 動物カード(B) 69 グラウンアップ(B) ●人間関係(B) 113 あいことあいこ</p>	<p>自然観察会 修学旅行</p>
7	<p>41) 各々の集団に思いをこめて、自分の役割を担い、協力して主体的に責任を果たす。 42) 各々の集団に思いをこめて、自分の役割を担い、協力して主体的に責任を果たす。</p> <p>7月、 クラス全員と関われるもの、全体を中心に</p>	<p>4 あなたとわたし 8 カウント オフ 9 キャッチ 76 数回し 73 病気鬼(ジャンケンで行う) 82 犯人はだれだ(体育の時間などに行う) 113 あいことあいこ</p>	<p>77 形勢型インパルス(B) ●144 魔術のじゆうたん(B) 3 アー11(A) 108 仲間さがし(B) ●115 3つの自分(B) 7月、 クラス全員と関われるもの、全体を中心に</p>	<p>水物観察、 1物観察</p>

指導事項		ショート活動	メイン活動	備考	
月	目標 人間関係作りのねらい、 道徳内容				
9	<p>様々な行事を進めていくにあたり、リーダーとしてまとまりのある集団を作り意欲を高めていく。</p> <p>4月、 クラス全体の士気を高める活動を中心に全体へ</p>	<p>8 カウントオフ、 72 掃帚 75 リーダスラップ、 106 見えぬ共通点、 108 仲間さがし、 47 玉まわし</p>	<p>17 ミラーストレッチ(A) 92 オールキャッチ(B) ●138 ヘリウムフラフープ(B) 34 動物あつまり(B) 97 ひざたたき(B) ●133 ビート(B)</p>	<p>新学期、 運動会</p>	
10	<p>10月、 視察をさえられ、友だちから支えてもらえる喜びを中身に</p>	<p>219) お互いに経験し、学び合って将来を築く、また仲良く協力し助け合う。</p> <p>11月、 意志を伝える活動を中心に</p>	<p>29 月と星 103 植物の観察 112 グループワーク 動物の観察などで行う 116 シェルパワーク 118 カードラインアップ</p>	<p>1年生を迎える会、 修学旅行 音楽会、 人権週間、 月間</p>	
11	<p>11月、 意志を伝える活動を中心に</p>	<p>40) だれがリーダーになるか、仲間を頼ることも必要、自分自身に、自分の役割を果たす。</p> <p>20) だれがリーダーになるか、仲間を頼ることも必要、自分自身に、自分の役割を果たす。</p>	<p>34 動物あつまり 47 玉回し 73 病気鬼(ジャンケンで行う) 82 犯人はだれだ(体育の時間などに行う) 114 早撃わり</p>	<p>10 キャッチボール(B) 85 目隠し鬼(B) 137 プライドラインアップ(B) ●絵描き、 ●紙粘土、 (エンカウンター)</p>	<p>ふれあい 修学旅行</p>
12	<p>12月、 課題解決の活動を中心に</p>	<p>20) だれがリーダーになるか、仲間を頼ることも必要、自分自身に、自分の役割を果たす。</p>	<p>124 左右 133 ビート 141 宇宙人の顔</p>	<p>15 プラントポリレー(B) 134 ヒューマンノット(B) ●135 ふわふわ飛行機 61 チクタクポン(B) 95 ふわふわ飛行機(B) 105 見えぬ共通点(B) ●94 お花畑(B)</p>	<p>持久走大会、 終業式</p>

指導事項		ショート活動	メイン活動	備考
月	目標 人間関係作りのねらい、 道徳内容			
1	<p>様々な行事を進めていくにあたり、リーダーとしてまとまりのある集団を作り意欲を高めていく。</p> <p>1月、 課題解決の活動を中心に</p>	<p>38 動物あつまり 45 じゃんけんジャンクション 61 ちよっかい 65 おしくらまんじゅう</p>	<p>スパイ大作戦(B) 病院鬼(B) ●川遊び(B) 4人おに(B) ミニカード(A) ●クロック(B)</p>	
2	<p>2月、 意思疎通を図るための活動を中心に</p>	<p>40) 学校の人々への敬意を高め、みんなを協力し、よりよい校園を作る。</p> <p>2月、 意思疎通を図るための活動を中心に</p>	<p>88 勇険おに(ジャンケンで行う) 80 犯人はだれだ(体育の時間などに行う) 113 あいことあいこ 132 ビートナー</p>	<p>リアクション(B) ホグコール(B) イフ(B) ●アースボール(B) ニーストラップ 奇襲だね ●DHA(B)</p>
3	<p>3月、 友達に感謝の気持ちを伝える活動を中心に</p>	<p>20) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応える</p> <p>3月、 友達に感謝の気持ちを伝える活動を中心に</p>	<p>76 数回し 67 20の扉 113 あいことあいこ</p>	<p>知探中(B) ニューマンノット(B) ●サンクス(B) キャッチボール フラフープリレー ●サンクス(B)</p>